

令和4年度 事業報告書



社会福祉法人 ほうりんかい 峰林会

特別養護老人ホーム峰林荘
短期入所生活介護事業所
峰林荘通所介護事業所
あかり居宅介護支援事業所
ゆうゆうケア・ワン

運 営 理 念

「他人（ひと）を思いやる心」

1. ここでは、みんなが家族です
2. 明るく豊かな生活を目指して
3. 地域、家族の幸せを目指して
4. 健康で明るい地域福祉の発信所

目 次

I. 法 人.....	4
II. 特別養護老人ホーム 峰林荘.....	6
III. 峰林荘短期入所生活介護事業所.....	9
IV. 医務課.....	10
V. 栄養管理課.....	10
VI. 各種委員会.....	12
VII. 峰林荘通所介護事業所.....	16
VIII. あかり居宅介護支援事業所.....	18
IX. デイサービスセンターゆうゆうケア・ワン.....	18

〈 令和4年度 峰林会 事業報告 〉

令和4年度の峰林会は、前年度に引き続き、厳重な感染症予防対策を行いながらの法人運営となりました。外部との交流には制限がある状態が続き、法人の運営理念に掲げる開かれた施設運営も思うように実施出来ませんでした。

幸いにも、法人内での新たなクラスター感染は発生することなく経過する事が出来ましたが、在宅系サービスでは、市内の感染状況に連動し、同居ご家族の感染による濃厚感染者としてサービスの休止を余儀なくされるご利用者様も多く発生しました。

令和5年5月8日からは、コロナ感染は感染症分類上の5類へ変更されましたが、高齢者福祉施設での感染症対策は継続となります。今後は、いかに安全に社会的交流機会を再開してゆくかが課題となります。

また、現在、特別養護老人ホームは、入所者の高齢化と重度化が進み、入所者の入所期間の短縮傾向がみられ、「多死社会¹」の到来を実感します。

峰林荘でも令和4年度はこれまで以上に多くの入居者様が入院または永眠により退所され、これに伴う空床の発生が続きました。

この先、安定した法人運営の為には、今ある法人の社会資源を最大限有効に活用する事が必須であり、そのためには、適宜、現状を見直し、改善や新たな取り組みを行いながら、スピード感のある入所受け入れ体制が求められる状況となっています。

令和4年度の実績をしっかりと振り返り、令和5年度、安定的な運営を目指して参ります。

(理事長 片桐真奈美)

¹ 多死社会：高齢化の後に死亡数が増加して人口減少が加速する状況

I. 法 人

1. 理事会の開催

第1回（令和4年5月28日）理事6名 監事1名

議案第1号	令和3年度事業報告について	承認
議案第2号	令和3年度決算報告について	承認
議案第3号	定時評議員会の招集について	可決
議案第4号	定款施行細則の変更について	可決

報告

1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

- ・経営基盤充実への取り組み
- ・安全対策・災害時へ取り組み
- ・感染症対策への取り組み

第2回（令和4年9月8日）※感染症予防のため「書面決議」

議案第1号	介護福祉士実務者研修受講資金貸付制度を利用する 外国人職員の連帯保証をする件	承認
-------	---	----

報告

1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

- ・新型コロナウイルス感染症対策について
- ・対外的行事の中止について
- ・人事調査の実施について
- ・人材確保対策について
- ・技能実習生の受け入れについて
- ・予算の執行状況（4月～6月）

第3回（令和4年12月4日）理事6名 監事2名

議案第1号	育児・介護休業規定の一部改訂について	可決
議案第2号	BYODに関する規程の制定について	可決
議案第3号	補正予算について	承認

報告

1 峰林荘における感染症予防対策について

インフルエンザ予防接種、オミクロン対応新型コロナワクチン接種

2 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告

- ・茨城県長寿福祉課により施設一般検査
- ・ゆうゆうケア・ワンの土地借地契約について
- ・歯科診療体制について
- ・施設管理維持について

- ・地域との連携

第4回（令和5年3月19日）理事5名 監事2名

議案第1号	令和4年度第2次収入支出補正予算について	承認
議案第2号	令和5年度事業計画について	承認
議案第3号	令和5年度収入支出予算について	承認
議案第4号	定時評議員会の招集について	可決
	報告	

- 1 新型コロナウイルス感染症対策に伴う来荘制限の緩和について
- 2 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
 - ・歯科診療体制について
 - ・施設管理維持について
 - ・地域との連携
 - ・峰林会50周年事業について（提案）

2. 評議員会の開催

第1回（令和4年6月12日）評議員5名 監事2名

承認第1号	令和3年度事業報告について	承認
承認第2号	令和3年度決算報告について	承認
	報告	

- 1 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
 - ・経営基盤充実への取り組み
 - ・安全対策・災害時への取り組み
 - ・感染症対策への取り組み

第2回（令和5年3月19日）評議員7名 監事2名

承認第1号	令和5年度事業計画について	承認
承認第2号	令和5年度収入支出予算について	承認
	報告	

- 1 新型コロナウイルス感染症対策に伴う来荘制限の緩和について
- 2 理事長及び業務執行理事の職務執行状況報告
 - ・歯科診療体制について
 - ・施設管理維持について
 - ・地域との連携
 - ・峰林会50周年事業について（提案）

Ⅱ. 特別養護老人ホーム 峰林荘

入居者が安心・安全に生活していただけるよう、入居者の毎日の暮らし、季節ごとの内容の見直しを行った。また、行事、家族の面会方法の検討・実施、荘内の環境整備、研修の実施等コロナウイルス感染症対策の観点から、一年を通し状況に応じて見直しを図った。

制約のある中で、質の高いサービスを目指し、職員間のコミュニケーションを大切にし、家族への状況報告にも努めた。

1. 入居者概況（令和5年3月末）

(1) ユニット棟：37床（定員:40床）

①要介護度状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	1	4	2
女	1	10	11	8
計	1	11	15	10
割合（%）	3	30	40	27
平均介護度	3.9			

②保険者別入居者状況

	守谷市	中野市	横須賀市	富岡町
男	7	0	0	0
女	27	1	1	1
合計	34	1	1	1

(2) 地域密着棟：17床（定員 20床）

①要介護度状況

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
男	0	1	1	2
女	0	8	3	2
計	0	9	4	4
割合（%）	0	52	24	24
平均介護度	3.7			

②保険者別入居者状況

	守谷市
男	4
女	13
計	17

2. 全体行事

(1) 施設内行事

桜花見会は、桜の満開に合わせ、部署で4月上旬に開催。

夏祭りは、8月6日に施設内で開催。屋台やゲームコーナー等を設け、夏祭りの雰囲気味わっていただくための演出を行った。

敬老会は、9月15日に節目に当たる年齢の入居者5名のお祝いと、各部署で敬老会をお祝いした。

クリスマス会は、12月22日に各部署で開催。クリスマスプレゼントとケーキを用意した。

(2) 地域との関係（夏祭り）

例年であれば地域と一緒に夏祭りを楽しむが、令和4年度は新型コロナウイルス感染予防のために中止とした。

3. 地域との取り組み

(1) 地域行事への参加

新型コロナウイルス感染対応により中止

(2) 地域との連携

総合防災訓練

施設内（入居者、職員）で実施

カスミの移動スーパーと移動販売ニコパ（各週1回）

地域の方々が安全でより気軽に買い物を出来るように場所を開放した。

4. ユニット棟 もみじ

- ・毎月ユニット会議を開催し、入居者の変化に応じケアの確認・再検討を行う等、情報共有に努めた。
- ・毎月の誕生会の開催、季節の行事を開催した。
- ・外出に関しては、コロナウイルス感染予防のため行うことが出来なかったが、天気の良い日の散歩など気分転換が出来る様に努めた。また、室内では、和紙などを使い季節を感じられる飾り作りなどを入居者と共に行い、楽しむことが出来た。
- ・24時間シートの内容の見直しはユニット会議で行うことが出来たが、活用までには至らなかった。
- ・感染症対策・対応を実際に行うことで、対策に必要な知識・技術を身に付けることが出来た。また、予防対策が定着化した。

5. ユニット棟 ひまわり

- ・24時間シートの内容の見直しは随時行いシートの更新を行った。
- ・ユニット会議で、入居者のケアの変更点の確認・再検討・伝達を行った。また、連絡ノートを活用し、情報共有に努めた。

- ・職員へ外部研修の参加、内容の共有を行った。
- ・入居者に快適に過ごして頂くために、季節感のある環境づくりに努めた。
- ・消毒の徹底、感染症対策・予防対策に努めた。

6. ユニット棟 すみれ

- ・職員間のコミュニケーションを図り介護方法や時間の統一を行い、情報共有に努めた。
- ・ユニット費を活用して、パズルやミニゲームなどレクリエーション用品を充実させ、入居者の楽しみを増やすことに努めた。
- ・お楽しみ会としてオードブル盛り合わせを入居者様に提供した。
- ・二ヶ月に一度、入居者様それぞれが選んだコンビニスイーツを注文し、楽しんでいただいた。
- ・入居者に安心して過ごして頂くために備品の修理や買い替えをし、環境整備を行った。
- ・24時間シートの作成は職員各人が担当入居者への聞き取りを行い、途中まで作成することが出来た。
- ・新型コロナウイルス対策として、入居者及び職員の手洗い手指消毒の徹底、ユニット内消毒の徹底、職員マスク着用の徹底、必要に応じて入居者のマスク着用に努めた。

7. ユニット棟 花みずき

- ・入居者の食事・排泄等のケア方法の見直しを再度行い、最適化を図った。
- ・職員間で日々コミュニケーションを取り、申し送りノートを活用することで情報共有に努めた。
- ・日々の楽しみとしてコンビニデザートを月一回行った。
- ・オムツ、尿取りパットの見直しを図りコスト削減に繋がった。
- ・24時間シートの活用には至らなかったが、作成することは出来た。
- ・職員のスキルアップのために分かりやすい資料の作成を行った。勉強会の開催までには至らなかったが、業務に活かすことが出来た。
- ・感染症対策として日頃からマスク着用（職員）手洗い、消毒を徹底した。ユニット、居室内の清掃、消毒も行った。

8. 地域密着棟

- ・新型コロナウイルス感染予防として手指消毒、職員のマスク着用、施設内の消毒を実施した。
- ・アクティビティを活用したケアとして、日替わりで歌や体操、口腔体操など各職員がアイデアを出して行った。
- ・毎月のお楽しみ会と入居者の誕生会の開催の他、季節の行事を部署内で実施した。
- ・施設ケアマネジャー、リハビリ専門職、医務課、栄養課等と連携を取り、入居者の状態や現状の報告を家族に密に行うようにした。
- ・家族の面会制限の中、窓越しでの面会で対応した。

- ・入居者の日用品、消耗品の管理、調整を行った。

9. 地域密着型運営推進会議

会議開催数 6回（奇数月）

2ヶ月に1回、守谷市介護福祉課、峰林荘地区担当民生委員、入居者家族代表者参加のもと、峰林荘地域密着型の状況と取り組みの報告をし、峰林荘の特色をより多く発信した。新型コロナウイルス感染予防のため、施設での会議開催は、書面による報告と意見収集とした。

10. 入所検討委員会

令和4年度の委員会は4回開催した。6月、3月の2回は新型コロナウイルス感染対策を徹底して開催したが、県内の感染状況を考慮し8月、12月の2回は書面での決議とした。2月には入所申込者の実態把握確認を行い、入所の意思確認を行った。

直接、入所待機者本人と面接することが難しく、家族、病院、施設、事業所、担当介護支援専門員等からの聞き取りを行い適正な入所決定を行った。

入所申込者状況（各年度末）

年度	令和2年	令和3年	令和4年
入所待機者数	56名	65名	47名

11. 家族会

新型コロナウイルス感染予防により荘内への立ち入りが制限され、家族を招いた行事は中止とした。面会も県内の感染状況に応じて、対面での面会を中止とした時期もあり、家族と交流を図ることが出来ない一年となった。

家族会会費より、施設内行事の食事代、お菓子代、花代、敬老会、クリスマス会のプレゼントとケーキ代、誕生会用ケーキ代として入居者の楽しみのある生活を支えている。

Ⅲ. 峰林荘短期入所生活介護事業所

新型コロナウイルス感染者数が減少してきたので、利用者数が増加傾向である。

(1) 短期入所施設（地域密着型併設5床）月稼働状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
延利用者数	106	114	168	171★	182★	135★
稼働率（%）	70.6	73.5	112.0	110.3	117.4	90.0
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
延利用者数	126★	113★	187★	184★	135★	131★
稼働率（%）	81.2	75.3	120.6	118.7	96.4	84.5

※利用者数は延べ利用者数：ベッド稼働日数★施設空床分を含む
平均利用延人数 146 人/月（前年度 129 人/月）平均稼働率 95.8%

IV. 医務課

協力医療機関である「総合守谷第一病院」「オーラル歯科」を中心に市内の医療機関と連携を取り、入居者一人ひとりに寄り添った看護の提供を行った。

新型コロナウイルス対策については、令和 4 年 2 月のクラスター以降、入居者、職員の健康に留意して、積極的に抗原検査の実施、陰性確認後業務に入ること、濃厚接触者となった場合の PCR 検査、休業期間などの相談、指示を行った。また、出入り業者の抗原検査を実施して陰性確認後、荘内作業を依頼するなどコロナウイルスを持ち込まないように対策をとってきた。クラスターの 2 度目の発生は防止できた。

1. 主な取り組み

(1) 医務会議の開催

毎月第二火曜日に開催し、気付きの報告・課題点の共有を行い、対応策を実施した。

(2) 褥瘡対策

毎日カンファレンスを行い、入居者の情報共有し、早期発見に努め対応策の検討を行い介護者へ情報提供をして対応策を講じた。

(3) 新型コロナウイルス予防接種

合計 2 回の準備・介助（利用者・職員）

(4) 入居者の通院介助

入居者の通院に付き添い、情報提供を行い治療内容などの把握に努めた。

2. 定例的な取り組み

(1) 入居者・職員の定期健康診断（さくらがわ地域医療センター健診部）

入居者：1 月 職員：5 月・1 月

(2) 入居者の体重測定（1 回/月、または状態変化時）

(3) 入居者、職員の感染症対策：インフルエンザ予防接種実施（11 月）

V. 栄養管理課

1. 季節を感じて楽しめる献立・食事を提供する。

献立作成は、地域の方に頂いた食材や旬の野菜や果物など使ってなるべく飽きのこ

ない楽しい食事になるよう献立を立てた。人員不足により週に1回だった夕食弁当が現在3回に増えている。スタッフの確保、及び能力が整い次第通常献立に戻していきたい。

月に1回の選択食（麺類）や、月に2回の手作りおやつを実施し提供方法や盛り付けの工夫で季節感を味わえる安全かつ美味しい食事提供を行なった。今後は、行事食などで新メニューを少しずつ取り入れるなど、献立レパートリーの幅を増やしていきたい。

食材価格の高騰が目立つため、定期的にスーパーの市場価格を参考にし、こまめに品物の品質と価格の検討・チェックを行ない、随時献立変更を行なった。また、仕入れ業者より市場の動きの情報を頂き、そこで品物の選定をしている。品質が悪く価格の高い品物を継続的に納品する業者については、随時選別していく。

2. 個人のレベルに合わせて食べてもらう工夫を行う。

嗜好の個人差や身体的機能の低下により食べる行為そのものが困難になった利用者に、少しでも食事を食べて頂けるように、こまめに食事観察を行ない、多職種でコミュニケーションを取り連携し、試行錯誤しながらもそれぞれの個人に合わせた食事形態などの対応を図った。

3. 業務推進マニュアルの作成をする。

厨房内作業の効率化・衛生管理の徹底・食中毒発生防止については、課内で声掛け、話し合いながら見直しをすることが出来た。

現在、業務マニュアルの改正検討中。また、新たに掃除チェック表等を作成し活用しながら衛生管理の徹底・食中毒発生防止に繋げている。調理員は安全で美味しい食事提供を行えた。

4. 他職種連携・協力にて情報共有に努め、栄養的サポートを強化する。

委員会、担当者会議、厨房内会議等を随時開催し、情報発信や意見交換を行った。多職種とコミュニケーションを密にとり情報の共有をし、入居者一人ひとりの栄養ケアマネジメントを行い、嚥下状態や栄養状態に合わせた食事提供で利用者の健康維持向上に繋げた。また、多種職と連携しながらその方の身体レベルや状況に応じた栄養補助食品やトロミの調整、自助具の選別や検討も行った。

5. 自然的排便に近づけるため、食品やオリゴ糖での排便コントロールを行う。

薬のみでの排便コントロールではなく、献立にヤクルトやヨーグルトを入れ、希望者にはオリゴ糖の摂取で排便サポートを行った。

VI. 各種委員会

1. 安全衛生委員会

職員がより働きやすい職場環境づくりに向けて、産業医と連携しながら、外的な環境のみでなく、ストレスの解消などの内的な取り組みを行った。産業医による全体研修は感染予防のため行えなかった。職場環境の快適性、安全性などのチェックを毎月1回行い、快適な環境作りに努めた。

(1) 健康診断

5月に実施、令和5年1月に夜勤者健診を実施した。
介護職員の腰痛アンケートを5月と令和5年1月に行った。

(2) ストレスチェック

3月に実施した。

2. 安全対策委員会

新型コロナウイルス感染症マニュアルを作成し、感染症対策委員会を適時開催しマニュアル作成や見直し等実施した。コロナ情報も会議の中で適宜報告した。

看取りについて多職種連携のもと、医師の判断で看取り介護の書類を交わした。適宜家族への状態変化時に報告をした。入居者健診を令和5年1月に実施し、健診結果をご家族に送付した。

(1) 感染症

感染症に関しては適宜多職種と相談しながら対応等を検討・実施した。
感染症対策上、通年を通しての面会制限を実施することになり、理解をご家族に求めた。感染症対策委員会の開催を定期的開催した。

(2) 看取り

看取りに関しては適宜、担当者会議を開き多職種連携のもと実行することが出来た。
今後も家族に寄り添う看取りを模索する。

(3) インフルエンザ対策

予防接種は既往歴等で難しい方以外は接種することが出来た。
コロナ禍でもあり感染対策の徹底が要因しているのか、インフルエンザの発生症例は認められなかった。

(4) 食中毒対策

食中毒等の注意喚起、衛生管理を行った。

(5) 身体拘束

入居者の自尊心を尊重した制限のない暮らしづくりに向けて努力した。
身体拘束具の排除はもちろんのこと、生活空間、動作、精神的な制限などが無意識に行われていないか、毎月、身体拘束廃止委員会で現状報告や課題をあげ検討した。
在宅、施設など立場の違う委員からの意見を聞く機会が得られた。
令和4年度に身体拘束を行った入居者はいなかった。

(6) リスクマネジメント

①事故・ヒヤリハット発生件数 ※峰林荘（含む短期）

事故 88件 ヒヤリハット 13件 <合計 101件>

(地域密着 事故 46件 ヒヤリ 7件/ユニット 事故 42件 ヒヤリ 6件)

②発生状況

事故内容	
転倒	35
転落	18
表皮剥離、出血、 内出血等発見	15
誤薬	9
未投薬	9
誤食	5
打撲	3
トラブル	2
自傷	1
その他	4

発生時間帯	
6時～11時	45
12時～17時	25
18時～24時	15
0時～5時	9
不明	7

発生場所	
居室	36
ホール	40
浴室	8
トイレ	6
廊下	4
その他	7

- ・発生状況を上半期と下半期とまとめることで、事故の件数を具体的に減らす対策が取れた。集計結果をもとに研修の企画や、職員間で事故を減らす具体的な対策を取ることが出来た。

3. 防災委員会

地域住民と合同で避難訓練を含めた防災訓練を実施予定であったが、感染予防のため最少人数の職員で2回（日中・夜間想定）実施した。訓練時には防災設備の点検及び使い方の確認と検証をした。

(1) 避難訓練

6月20日（月）〔日中想定〕消防職員派遣あり。

12月12日（月）〔夜間想定〕消防職員派遣あり。

(2) その他

災害時に必要な備品の確認及び整理をした。

4. 研修委員会

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、令和4年度も法人全体での研修は行わず、部署ごとの会議の中で必要な内部研修を実施した。

研修名	研修名
職業倫理・守秘義務・権利擁護 高齢者の虐待及び身体拘束①	感染症②（インフルエンザ等）
法人理念及び運営方針 ハラスメントについて	地域合同避難訓練（火災、自然災害）
感染症①（食中毒関連）	認知症について
事故防止① （緊急時対応・安全運転）	高齢者の虐待及び身体拘束② 褥瘡防止について
事故防止② （リスクマネジメント・ストレスマネジメント）	高齢者の食事、口腔ケア
接遇・マナー（プライバシー）	急変時の対応、看取り及びメンタルケア
健康について（職員の健康管理・腰痛予防）	次年度に向けて 事業継続計画（BCP）

(2) 外部研修は感染予防対策でオンラインや動画配信が多かった。

研修年月	研修名（4月から10月）	研修年月	研修名（11月から3月）
令和4年4月	地域包括ケアと認知症施策の理解を深める		福祉人材確保に関する勉強会
令和4年5月	社会福祉法人経営改善支援研修会 新任職員研修	令和4年11月	リスクマネジメント研修 新型コロナ感染症対策研修
令和4年6月	褥瘡対策研修会 障害福祉サービス研修会		取手・守谷・利根地域在宅学習会 原子力災害時の避難体制の確保に係る施設長会
令和4年7月	改定 おさえないといけないポイント 新型コロナ感染症対策研修 いばらき介護職員合同入職式	令和5年1月	ケアプランデータ連携システム説明会 モンゴルにおける介護分野の人材に関する調査報告・意見交換会 動機付け面接研修
令和4年8月	施設長・管理者研修会 高齢者の取り巻く環境についての研修会	令和5年2月	いばらき Diversity & Inclusion 福祉人材確保・育成に関する研修会

	「ポジティブ・リーダーシップ」セミナー		生産性向上の取り組み 介護事業 所向けセミナー
	雇用環境均等法令制度 改正法 説明会		デイサービスの稼働率アップ研修
	介護保険施設の運営において LIFE		高齢者権利擁護（身体拘束廃止、 リスクマネジメント）研修
	BCP 地域連携セミナー		眠りスキャン勉強会
令和4年9月	インボイス制度	令和5年3月	精神・発達障害者しごとサポーター 養成講座
	安全運転者講習		施設等管理者・代表者研修
	摂食嚥下障害患者への食事指導		高次機能障害者支援従事者研修会
	BCP 作成のポイント		口腔ケア講習会
	LIFE 研修会		医療的ケア教員講習会
令和4年10月	考課者研修会		処遇改善加算等計画書作成セミナー
	摂食嚥下マネジメント		外国人介護人材育成研修 2023
	リクリエーション基礎研修		適切なケアマネジメント手法推進 セミナー
	介護保険講習会		
	ハラスメント研修		

5. 給食・褥瘡予防委員会

(1) 給食

栄養士・調理師（員）会議を月一回開催し情報伝達や意見交換を行った。給食については、季節と行事を感じられ、彩りにも配慮し、楽しく、美味しく、安全な食事やおやつを日々提供し、利用者の食事摂取量や食事形態を、多職種連携にて情報交換を行い対応することが出来た。また、栄養補助食品等の検討を行い提供することが出来た。

(2) 褥瘡予防委員会

介護スタッフと日々情報共有（おむつ交換時の状態等）を行い、褥瘡の早期発見や状態把握に努めた。

毎日の医務カンファレンスにおいては、利用者一人ひとりの情報・状況を看護師が報告することで、全体的には改善（減少）傾向にある。

褥瘡の写真を定期的に撮影し、介護記録システム「ケアカルテ」を利用し、時系列による評価を行った。画像であり情報の共有が均一化された。

栄養面でのサポートとして、その方の嚥下状態に合わせて提供エネルギー量を見直したり、嚥下困難な方には、栄養補助食品等の検討を多職種で行ないながら、栄養を強化し褥瘡予防に繋げた。

6. 広報活動委員会

広報誌の発行ができなかったが、ホームページのブログやツイッターを随時更新し新型コロナウイルスの情報提供や施設の感染対策の状況などのお知らせをした。

7. 苦情処理委員会

・令和4年度 苦情件数 3件

ケアの内容と差し入れ品について等、家族からの苦情が3件あった。
家族から内容の聞き取りをし、説明をする等の対応をした。

VII. 峰林荘通所介護事業所

1. 実施状況

利用者と日々コミュニケーションを積極的に取りながら、些細な変化に気付く体制を取っている。90歳以上の利用者が多いので体調などに合わせたサービスを提供することが出来た。また、職員間で口頭や申し送りノートにて情報共有を行うことが出来、他事業所やご家族には身体状況の変化などがあった場合には、情報を提供し連携を図った。利用者の希望に合わせ、特養入居中のご家族との面会の付添いを行った。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ボランティアの受入れは控え、毎月担当職員を中心に利用者が楽しめる内容のレクリエーションや行事を計画・実施し、マンネリ化しないように新しいレクリエーションは、情報誌やネットを活用し取り入れた。月に1回の広報誌（アムール）やツイッターで行事内容を掲載し、利用者がデイを楽しむ表情などの情報発信が出来た。

毎月第3水曜に関係職員で、デイサービス会議を開催し現状で困っていることや業務について話し合いを行い、サービスの質の向上に努めた。

安全運転や地域の見守りを心掛けながら送迎を行い、車両メンテナンスは、運転職員が積極的に行い綺麗な車両を保つことが出来た。

法人理念同様、より地域に根ざした通所事業所を目指し、4月から地域密着型通所介護事業所への移行や土曜日営業が開始することができた。前年度に比べ、今年度は居宅事業所からの新規の依頼も増え、稼働率を伸ばすことができた。更なるサービス質の向上し、数ある通所介護事業所から選ばれる事業所を目指したい。

2. 通所介護事業所地域密着型運営推進会議（会議回数 2回）

6ヶ月に1回、守谷市介護福祉課、峰林荘地区担当民生委員、利用者家族代表者参加のもと、状況と取り組みや特色の報告を行い、皆様よりご意見等を頂いた。新型コロナウイルス感染予防のため、施設での会議開催は11月のみで、5月は、書面による開催となった。

3. 利用状況

（1）月別利用者実人数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
27	28	28	31	34	33	32	32	34	34	31	31

(2) 月別利用者延べ人数・稼働率

年	令和4年									令和5年			合計
	営業月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
人数	234	258	225	255	286	296	244	291	295	287	287	329	3287
稼働	50	55	48	55	59	62	64	63	66	64	67	68	

平均利用延人数 274 人（前年度 248 人） 平均稼働率 61%

(3) 年齢別利用者数（令和5年3月末）

区分	男			女	計	割合 (%)
～64	0			0	0	0
65～74 歳	0			2	2	6%
75～84 歳	1			8	9	29%
85～94 歳	2			13	15	49%
95 歳以上	1			4	5	16%

(4) 行事への取り組み

季節ごとに季節感の感じられる行事企画を立て、「見る」「食べる」「体験する」を基本コンセプトとして取り組んだ。

月	内 容	日常の取り組み
4	花見会	鯉のぼり制作（塗り絵・貼り絵）
5		藤の花制作
6	あやめ見学	紫陽花の花制作、七夕飾り
7	七夕	七夕飾り、ちょうちん・風鈴制作
8	夏祭り	提灯制作、うちわ制作、射的ゲーム
9	敬老会	手形色紙制作、ビンゴ
10	運動会	菊の花制作
11		ビンゴ、クリスマスリース制作
12	クリスマス会	お正月の飾り制作
1		ピーナッツだるま制作
2	節分・雛祭り見学	鬼退治、雛祭り飾りの制作
3	雛祭り 桜花見ドライブ・お花見散歩	桜の制作

定例行事 書道、手作り昼食・おやつ、華道クラブ、各ゲーム

カレンダー作り・誕生会－毎月 モビール制作－季節ごと（年4回目安）

学習療法（脳トレ等）－毎日 避難訓練（年2回）

Ⅷ. あかり居宅介護支援事業所

1. 実施状況

利用者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることが出来るよう関係機関との連携、事業所内での情報共有し、その方に必要な支援を行った。地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との困難ケース等の地域ケア会議に参加した。研修においては計画的な研修体系を作り、個々のケアマネジャーに応じた研修に参加した。他の居宅介護支援事業所との連携を図り事例検討会を定期的実施した。直接来荘された方や電話での介護の悩みや心配事の相談に対応した。

2. 利用状況

(1) 介護給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	124	126	124	125	125	122	122	117	120	121	120	116

(2) 介護予防給付実績件数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	32	32	31	31	31	29	28	26	26	26	27	27

3. 守谷市要介護認定の更新調査委託業務

感染拡大予防のために依頼がなかった。

Ⅸ. デイサービスセンターゆうゆうケア・ワン

1. 実施状況

昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の収束も目途がつかない一年だったが、感染症拡大防止対策を徹底しながら安全に営業することが出来た。

年間の延べ利用者人数・稼働率においては、コロナ関係での休みや施設入所、入院による利用停止など重なり、前年度は上回ったものの予定数に対する実績には届かなかった。だが、職員の動きとして、利用者一人ひとりのニーズに対しての細やかな、柔軟な対応や、医療との連携においてのデイサービスとしての役割を担うことが出来た事例が多くあり、職員の自信とモチベーションに繋がりました、各居宅への信頼の構築にも繋がることにより、引き続き、真摯に取り組んでいきたい。

感染状況を確認しながら、継続的に感染症拡大防止対策を実施し、安心して安全に利用できる事業所としてまた、利用者の満足度向上に繋がるよう、職員一丸となって引き

続き努力していきたい。

2. 利用状況

(1) 登録者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
47	46	45	44	44	43	42	43	43	43	43	43

(2) 年齢別利用者数（令和5年3月末）

区分	男	女	計	割合（%）
65～74歳	0	2	2	5%
75～84歳	5	12	17	40%
85～94歳	5	18	23	53%
95歳以上	1	0	1	2%

(3) 利用者延人数

年	令和4年									令和5年			合計
	営業月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	
延人数	402	407	417	371	373	412	412	415	384	345	343	383	4.664
稼働率	81.2	82.4	84.4	75.1	72.7	83.4	83.4	84.0	80.6	75.6	74.4	74.7	79.3%

平均利用延人数 388人・稼働率 79.3%（前年度366人、75%）

3. 行事・レクリエーション

昨年に続き、新型コロナウイルス感染症の収束も見通しが立たない中、通常の行事を実施することは難しかったが、感染症拡大防止対策の徹底とリスクを十分考慮し、安全を第一に考えた計画を行った。

ボランティアの受け入れも中止中であり、地域の方々との交流は難しかったが、施設内のイベントや季節の行事、また、日々工夫を凝らしたゲームを企画し実施した。

書道教室、おやつレクリエーション、民謡体操、音楽レクリエーション、カラオケ、季節の工作、誕生日会などの活動を継続的に行った。

今後も感染症の状況に合わせて、ボランティアの方々への受け入れや各行事・趣味活動・レクリエーション活動を提供し、利用者一人ひとりの満足度に繋げられる取り組みを行っていく。

月	行事・レクリエーション	作成物・その他
4	<ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会 ・お楽しみ会（職員ダンス） ・おやつレク（フレンチトースト） ・紙芝居 	壁面飾り（あやめ）

5	<ul style="list-style-type: none"> ・フラワーアレンジメント ・書道教室 ・誕生日会 ・紙芝居 ・おやつレク (フルーツポンチ) 	壁面飾り (てるてる坊主つるし飾り)
6	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつレク (クリームあんみつ) ・誕生日会 ・音楽レク (楽器演奏) ・書道 ・紙芝居 	七夕飾り (飾り工作・短冊) 壁面飾り (ひまわり) 提灯作り
7	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつレク (パフェ) ・誕生日会 ・書道 ・紙芝居 	壁面飾り (花火) (ダリア) 提灯作り ・牛乳パック物入
8	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつレク (豆花) ・誕生日会 ・紙芝居 	壁面飾り (ぶどう) 小皿と箸置き作り
9	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老お祝い会 (感謝状授与・演芸) ・誕生日会 ・書道 	壁面飾り (コスモス) 工作 (かご作り)
10	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつレク (バナナワッフル) ・お楽しみ会 (職員による演芸) ・音楽レク (楽器演奏) ・誕生日会 ・ミニ運動会 ・書道教室 	秋の壁面飾り (ぶどう) (もみじ) ハロウィン小物入れ
11	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつレク (スイートポテト) ・音楽レク (楽器演奏) ・書道教室 ・誕生日会 ・紙芝居 	クリスマスツリー飾りつけ (点灯式) X'mas リース&ツリー工作
12	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマス会 (ハンドベル・合唱・ダンス等) ・音楽レク ・紙芝居 ・柚子湯 ・誕生日会 	冬の壁面飾り 干支の置物作成 (卯) X'mas リース&ツリー工作
1	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつレク (さつまいも入りおしるこ) ・書初め ・誕生日会 ・紙芝居 	絵馬 干支の置物作成 (卯)
2	<ul style="list-style-type: none"> ・節分行事 ・書道教室 ・おやつレク (豆入り蒸しパン) ・誕生日会 ・書道教室 	壁面飾り (チューリップ) 雛飾り工作 吊るし雛展示見学 (守谷市内)
3	<ul style="list-style-type: none"> ・おやつレク (桜餅) ・誕生日会 ・楽器演奏 	春の壁面飾り (菜の花・桜) 足台作り

※毎日のレクリエーション活動については、感染症対策を行いながら状況に合わせ趣向を凝らしたゲームや工作・紙芝居、施設周りの散歩（機能訓練）など行った。

